



国土交通省

TEC FORCE

緊急災害対策派遣隊 Technical Emergency Control FORCE

1

地方公共団体からの
支援ニーズを把握

2

被害状況を
迅速に把握

3

応急復旧に
向けた支援

4

TEC-FORCE
の派遣事例

5

問い合わせ先

災害時における 地方公共団体への支援内容



地域を災害から守る、人材・資機材

被災した地方公共団体への支援

国土交通省は、国土の総合的かつ体系的な利用、開発及び保全のための社会資本の整備・管理を行っています。TEC-FORCEの職員である職員は、日常の河川や砂防、道路などの調査・計画・設計業務や現場業務で培った専門技術力を有しています。

TEC-FORCEは、台風や大豪雨、そして地震や津波、火山の噴火などの大規模自然災害が発生し、地方公共団体だけでは対応が難しい場合などに、被災地へ赴き、地方公共団体を支援いたします。

具体的には、二次災害の防止や応急復旧のための被災状況調査、災害対応についての技術的助言、災害対策用機械による応急対策など、早期復旧に向け、TEC-FORCEが全力を挙げて応援します。



被災した地方公共団体への支援項目

1 地方公共団体からの支援ニーズを把握します …… P1

積極的な情報収集、必要な支援ニーズの把握を行います。

2 被害状況を迅速に把握します …………… P2

(1) 地方公共団体が管理する施設を調査できます …………… P 2

(2) 被災地の状況をリアルタイムで配信できます …………… P 3

3 応急復旧に向けた支援を行います …………… P4

(1) 大雨、洪水などにより溜まった水を排水できます …………… P 4

(2) 夜間でも作業ができるよう照らすことができます …………… P 5

(3) 資材を貸与できます …………… P 6

(4) 災害対策用機械を貸与できます …………… P 6

4 TEC-FORCEの派遣事例等 …………… P7

5 問い合わせ先 …………… P24



1

地方公共団体からの支援ニーズを把握します

災害が発生又は発生するおそれのある場合には、直ちにリエゾンを派遣し、被災した地方公共団体での情報収集や支援ニーズの把握を積極的に行います。リエゾンが被災した地方公共団体と地方整備局との太いパイプ役となって連絡調整にあたることにより、TEC-FORCEが迅速な応急対策等の支援を行うことができます。

※ リエゾン(Liaison,「仲介、橋渡し等」という意味のフランス語)



支援ニーズを把握



被災状況等の情報を収集

報告

TEC-FORCEによる
支援を実施



地方整備局は、リエゾンからの情報を総合的に判断し、最適な支援のためのTEC-FORCEを派遣します。

2

被害状況を迅速に把握します

(1) 地方公共団体が管理する施設を調査できます

TEC-FORCEは、被災の規模に応じて全国から隊員を集結させ、河川や砂防、道路などの地方公共団体が管理する施設の被害状況を短時間で調査し、報告することができます。また、発災後の橋梁や土石流危険渓流等土砂災害危険箇所の安全性の確認なども行うことができます。

立ち入ることが難しい危険な被災現場においては、ドローン(無人航空機)を活用し、上空からの調査を行うことができます。



管理施設の被害状況の調査



ドローン(無人航空機)を使った調査



橋梁の安全性の確認



調査結果の地方公共団体への報告

2

被害状況を迅速に把握します

(2) 被災地の状況をリアルタイムで配信できます

災害対策用ヘリコプターや監視カメラ等の被災地の映像情報を、衛星通信車や衛星通信可搬局装置(Ku-SAT II)により、役場等にリアルタイムで配信することができます。また、映像だけでなく、通信が遮断した被災地における通信回線の確保にも活用できます。

衛星通信可搬局装置は、小型で持ち運びが容易なことから、被災現場への設置など、災害発生直後の状況に応じた活用が可能です。



衛星通信車



衛星通信可搬局装置(Ku-SAT II)

例えば



3

応急復旧に向けた支援を行います

(1) 大雨、洪水などにより溜まった水を排水できます

大雨、洪水、津波などによる浸水を早期に解消するため、溜まった水を排水ポンプ車で排水することができます。

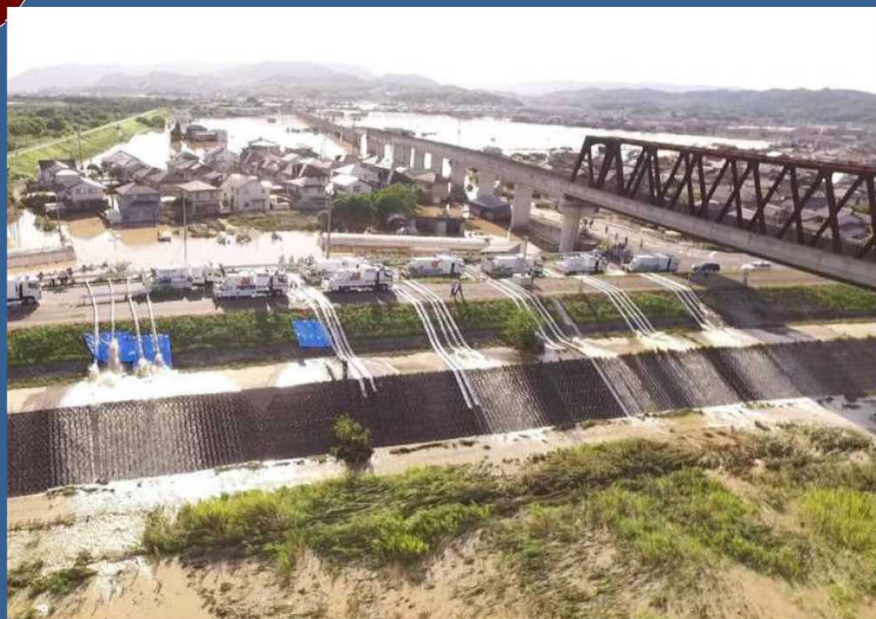
排水ポンプ車は、60m³/分(約5分で25mプールの水量を排水)と30m³/分(約10分で25mプールの水量を排水)の排水能力を持っています。また、車両によっては、クレーン、照明、牽引の各装置を装備しているため、災害現場の状況に応じた様々な作業が可能です。



排水ポンプ車による排水状況

排水活動を指揮する隊員

例えば



浸水を早期に解消するため活動する排水ポンプ車

3

応急復旧に向けた支援を行います

(3) 夜間でも作業ができるよう照らすことができます

災害現場での監視、調査、復旧は、24時間昼夜を問わず行われます。照明車は、夜間にこれらの活動を行う場合の照明として活躍します。照明車には、2kWの照明が6灯あるものや、2柱式、ブーム式などの種類があり、状況に応じた作業が行うことができます。

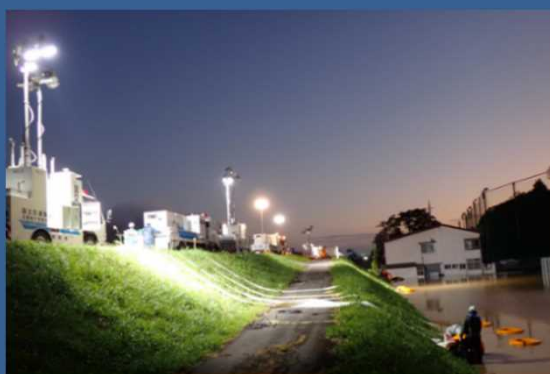


照明車(2柱式)



照明車(ブーム式)

例えば



夜間排水作業を照らす照明車



夜間監視作業を照らす照明車

3

応急復旧に向けた支援を行います

(4) 資材を貸与できます

国土交通省が保有する災害復旧用資材をお貸しすることができます。

■ 貸与可能な主な資材類

資材	用途・概要
異形ブロック	土留め、水防 など
砕石	道路の補修材 など
土砂	土のうの中詰め土砂 など

(5) 災害対策用機械を貸与できます

国土交通省が保有する災害対策用機械は無償でお貸しできます。

なお、建設機械の運転に係る費用(燃料、運転手など)は、原則、要請者で準備していただく必要があります。

詳細については、最寄りの事務所または北陸地方整備局防災室(問合わせ先)まで、お問合わせ下さい。

■ 貸与可能な主な災害対策用機械

機械・機器	用途・概要
対策本部車	災害現場での現地対策本部(会議室)
衛星通信車/ 小型衛星画像伝送装置(Ku-SAT II)	災害現場での衛星回線接続(通信確保)
排水ポンプ車	浸水、湛水地の排水
照明車	夜間の照明
待機支援車	災害現場における、休息施設・資機材運搬
応急組立橋	早期の交通路確保のための仮橋
遠隔操縦対応型バックホウ	危険箇所、立入困難箇所での土砂除去
超高感度カメラ/高感度カメラ	災害現場での画像撮影

4

TEC-FORCEの派遣事例 1

(1) 平成26年8月豪雨（広島県広島市）

◆ 平成26年8月豪雨で被災した広島県広島市へ被災状況調査を実施するため、「TEC-FORCE」を派遣。

(派遣内容)8月21日～9月1日まで12日間、延べ168人・日を派遣。

【被災状況調査】

H26.8.24 広島県広島市安佐南区緊急安全調査



H26.8.24 警察・消防・自衛隊との合同調査



H26.8.27 広島県広島市可部地区現地調査



H26.8.26 国土技術政策総合研究所職員への説明



H26.8.30 広島県へ報告書提出

【安倍総理激励】



安倍総理

各地整隊長

4

TEC-FORCEの派遣事例 2

(2) 平成26年11月長野北部を震源とする地震

◆ 平成26年11月の長野北部を震源とする地震で被災した長野県長野市、小谷村、白馬村へ被災状況調査、リエゾン、土石流危険渓流調査、橋梁点検を実施するため、「TEC-FORCE」を派遣。
(派遣内容)11月22日～12月5日まで14日間、延べ121人・日を派遣。

➤ リエゾンの派遣状況



➤ 災害対策用機械・電気通信機器の派遣



➤ 土石流危険渓流調査の状況



➤ 村道の道路被害状況調査および橋梁の安全性を確認するための調査の状況



4

TEC-FORCEの派遣事例 3

(3) 平成27年9月関東・東北豪雨

- ◆ 平成27年9月の台風第18号及び第17号による大雨等で被災した茨城県常総市、宮城県大崎市、福島県南会津町へ、緊急排水、被災状況調査を実施するため、「TEC-FORCE」を派遣。
(派遣内容)9月10日～9月18日まで9日間、延べ204人・日を派遣。

緊急排水(応急対策班)



(茨城県常総市)

被災状況調査(河川班)



(茨城県常総市)

緊急排水(応急対策班)



(宮城県大崎市)

被災状況調査(河川班)



(茨城県常総市)

4

TEC-FORCEの派遣事例 4

(4) 平成28年4月 熊本地震

◆ 平成28年4月の熊本地震で被災した熊本県阿蘇市などの各自治体へ被災状況調査、建物の応急危険度判定、「大型浚渫兼油回収船 白山」による物資輸送などを実施するため、「TEC-FORCE」を派遣。

(派遣内容)4月16日～5月13日まで22日間、延べ562人・日を派遣。



班名	活動内容
総合司令班	・九州地整における情報収集、北陸応援本部・現地活動班との連絡調整など
道路班	・国道3号、57号、443号の被災状況調査。熊本市、阿蘇市、大津町の市町管理道路等の被災状況調査など
砂防・河川班	・熊本市、阿蘇市、宇城市、南阿蘇村、産山村の土砂災害危険箇所状況調査、阿蘇市管理河川の被災状況調査など
建築班	・熊本市の建物の応急危険度判定
高度技術指導班 (砂防アドバイザー班)	・本省の指揮下で南阿蘇村(高野台地区、立野地区及び阿蘇大橋地区)における自衛隊・警察の行方不明者捜索作業の支援。阿蘇市、産山村の被災状況調査など
応急対策班	・九州地整へ遠隔操縦対応型BH(2台)を引渡。BHは国道57号阿蘇大橋崩壊箇所稼働。
リエゾン(阿蘇市)	・阿蘇市役所における情報収集、九州地整・北陸地整応援本部との連絡調整。



大型浚渫兼油回収船「白山」による支援物資輸送
(新潟港より飲料水、食料、医薬品等を輸送)

4

TEC-FORCEの派遣事例 5

(5) 平成28年8月 台風10号

◆ 平成28年8月の台風第10号で被災した岩手県岩泉町などの各地自体へ被災状況調査を実施するため、「TEC-FORCE」を派遣。

(派遣内容)8月31日～9月16日まで17日間、延べ509人・日を派遣。



被災状況調査(道路班)



被災状況調査(道路班)



被災状況調査(砂防班)



被災状況調査(砂防班)



被災状況調査(砂防班)



被災状況調査(砂防班)

4

TEC-FORCEの派遣事例 6

(6) 平成29年7月 九州北部豪雨

◆ 平成29年7月九州北部豪雨で被災した福岡県朝倉市へ被災状況調査を実施するため、「TEC-FORCE」を派遣。

(派遣内容)7月9日～7月21日まで13日間、延べ173人・日を派遣。



橋梁被災状況調査(道路班)



流木量調査(砂防班)



道路被災状況調査(道路班)



土砂災害危険箇所等緊急点検(砂防班)



道路被災状況調査(道路班)



土砂災害危険箇所等緊急点検(砂防班)

4

TEC-FORCEの派遣事例 7

(7) 平成30年7月豪雨

◆ 平成30年7月豪雨で被災した広島県広島市、岡山県倉敷市などの各自治体へ緊急排水、被災状況調査などを実施するため、「TEC-FORCE」を派遣。

(派遣内容)7月7日～7月30日まで24日間、延べ554人・日を派遣。

緊急排水(応急対策班)



排水前



高度技術指導(砂防班)



被災状況調査(道路班)



被災状況調査(砂防班)



被災状況調査(道路班)



広島県熊野町長へ報告(砂防班)



4

TEC-FORCEの派遣事例 8

(8) 平成30年 北海道胆振東部地震

◆ 平成30年9月の北海道胆振東部地震で被災した北海道厚真町などの各自治体へ被災状況調査、応急対策支援、「大型浚渫兼油回収船 白山」による物資輸送・洗濯・入浴支援を実施するため、「TEC-FORCE」を派遣。

(派遣内容)9月6日～9月17日まで12日間、延べ255人・日を派遣。



「大型浚渫兼油回収船 白山」による資輸送・洗濯・入浴支援



4

TEC-FORCEの派遣事例 9

(9) 令和元年 東日本台風

◆ 令和元年東日本台風で被災した長野県長野市などの各自治体へリエゾン、被災状況調査、緊急排水などを実施するため、「TEC-FORCE」を派遣。

(派遣内容)10月12日～11月29日まで49日間、延べ404人・日を派遣。



災害対策用ヘリコプター「ほくりく号」による千曲川上空の浸水調査



千曲川破堤箇所(長野県長野市穂保)



地方鉄道別所線(長野県上田市)



リエゾン(長野県庁)



リエゾン(飯山市役所)



被災状況調査(河川班)



被災状況調査(河川班)



被災状況調査(河川班)



被災状況調査(道路班)



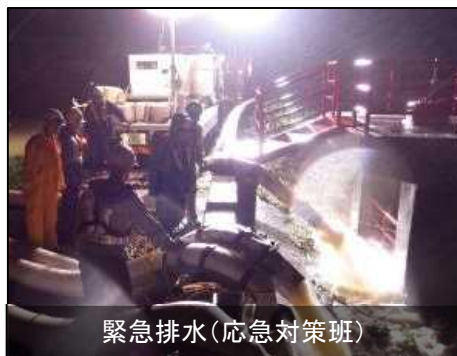
被災状況調査(砂防班)



被災状況調査(砂防班)



緊急排水(応急対策班)



緊急排水(応急対策班)



照明車(応急対策班)



路面・側溝清掃(応急対策班)



路面・側溝清掃(応急対策班)



路面・側溝清掃(応急対策班)

4

TEC-FORCEの派遣事例 10

(10) 令和元年 8月の前線に伴う大雨

◆ 令和元年8月の前線に伴う大雨で被災した佐賀県大町町などの各自治体へ被災状況調査を実施するため、「TEC-FORCE」を派遣。

(派遣内容)8月30日～9月6日まで8日間、延べ61人・日を派遣。



被災状況調査(河川班)



被災状況調査(機械班)



被災状況調査(河川班)



被災状況調査(河川班)



被災状況調査(河川班)



被災状況調査(河川班)

4

TEC-FORCEの派遣事例 11・12

(11) 令和元年 山形県沖を震源とする地震

◆ 令和元年6月の山形県沖を震源とする地震で被災した新潟県村上市などの各自治体へリエゾン、被災状況調査、情報通信(夜間監視・映像配信)を実施するため、「TEC-FORCE」を派遣。

(派遣内容)6月18日～6月20日まで3日間、延べ23人・日を派遣。



【情報通信班】

←
国道345号弘法トンネル落石箇所
衛星通信車・照明車による
夜間監視支援状況

(12) 令和2年 石川県能登地方を震源とする地震

◆ 令和2年3月の石川県能登地方を震源とする地震で被災した石川県輪島市などの各自治体へリエゾン、被災状況調査を実施するため、「TEC-FORCE」を派遣。

(派遣内容)3月13日の1日間、延べ11人・日を派遣。



リエゾン(輪島市)



災害対策用ヘリコプター「ほくりく号」
によるダム状況確認

4

TEC-FORCEの派遣事例 13

(13) 令和2年7月豪雨

◆ 令和2年7月豪雨で被災した熊本県・福岡県・佐賀県の自治体へ被災状況調査を実施するため、「TEC-FORCE」を派遣。

(派遣内容)7月6日～8月2日まで28日間、延べ323人・日を派遣。



被災状況調査(砂防班)



被災状況調査(砂防班)



被災状況調査(道路班)



被災状況調査(河川班)



緊急排水(応急対策班)



緊急排水(応急対策班)

4

TEC-FORCEの派遣事例 14

(14) 令和2年12月～令和3年1月 雪害

◆ 令和2年12月～令和3年1月の期間に関越自動車道、上信越自動車道及び東海北陸自動車道等で起きた雪害に対する様々な支援を行った。

(派遣内容) 12月17日～1月13日のうち9日間、延べ128人・日を派遣



緊急除雪(応急対策班)



物資支援(現地支援班)



緊急除雪(応急対策班)



通信環境構築(情報通信班)



ドライバーへの物資支援(現地対応班)



リエゾン(NEXCO)

4

北陸地方整備局による地域支援 1

(15) 平成28年11月 新潟県高病原性鳥インフルエンザ 防疫対策支援

- ◆ 平成28年11月に新潟県で発生した高病原性鳥インフルエンザ防疫対策支援のため、照明車10台、可搬型照明装置 4台を派遣。
- ◆ 搬出制限区域内ルート上の消毒ポイントを直轄国道に設置するための迅速な道路占用許可を実施。
- ◆ 衛星小型画像伝送装置(Ku-SAT II)による新潟県庁内鳥インフルエンザ対策本部等へ現地映像配信。

【防疫対策支援】



鶏舎の照明支援(関川村)



消毒ポイント(国道7号)



埋却箇所の照明支援(上越市)

【現地映像配信】



新潟県関川村 村民会館



新潟県関川村小見地先 養鶏場

配信映像



Ku-SAT II(関川村民会館)



4

北陸地方整備局による地域支援 2

(16) 平成28年12月 新潟県糸魚川市大規模火災支援

- ◆ 平成28年12月に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災における消火活動、応急復旧活動・防犯対策支援として、排水ポンプ車4台や照明車8台を派遣。
- ◆ 国道8号視界不良による通行止め並びに高速道路無料通行措置、姫川河川敷のガレキ置き場としての占用許可を実施。
- ◆ 新潟県庁、糸魚川市、糸魚川地域振興局の災害対策本部ヘリエゾンを派遣。

【排水ポンプ車活動】



排水ポンプ車活動状況



簡易水槽

【照明車活動】



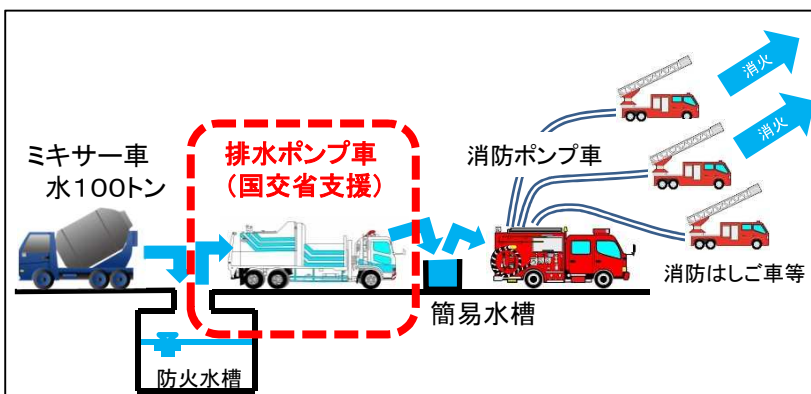
電気・ガス応急復旧活動支援



消防活動支援



防犯対策支援



排水ポンプ車活動概要図

4

北陸地方整備局による地域支援 3

(17) 令和4年1月 富山県立山町断水支援

◆ 令和4年1月に富山県立山町で発生した水道管破裂による断水支援のため、給水車1台を派遣。

【給水車による支援】



防災対応や災害復旧でお困りの時は、
国土交通省の最寄りの事務所にご相談を！
TEC-FORCEを速やかに派遣します。



TEC-FORCE

Technical Emergency Control FORCE

5

問合わせ先

国土交通省北陸地方整備局



北陸地方整備局事務所等連絡先

	名称		所在地	電話
1	高田河川国道事務所	943-0847	新潟県上越市南新町3番56号	025-523-3136
2	羽越河川国道事務所	909-3196	新潟県村上市藤沢27-1	0254-62-3211
3	信濃川河川事務所	940-0098	新潟県長岡市信濃1丁目5番30号	0258-32-3020
4	信濃川下流河川事務所	951-8153	新潟県新潟市中央区文京町14番13号	025-266-7131
5	阿賀野川河川事務所	956-0032	新潟県新潟市秋葉区南町14番28号	0250-22-2211
6	湯沢砂防事務所	949-6102	新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立23	025-784-2263
7	長岡国道事務所	940-8512	新潟県長岡市中沢4丁目430-1	0258-36-4551
8	新潟国道事務所	950-0912	新潟県新潟市中央区南笹口2丁目1番65号	025-244-2159
9	富山河川国道事務所	930-8537	富山県富山市奥田新町2番1号	076-443-4701
10	黒部河川事務所	938-0042	富山県黒部市天神新173番地	0765-52-1122
11	立山砂防事務所	930-1406	富山県中新川郡立山町芦峯寺字フナ坂61番地	076-482-1111
12	利賀ダム工事事務所	939-1363	富山県砺波市太郎丸1丁目5番10号	0763-33-4701
13	金沢河川国道事務所	920-8648	石川県金沢市西念4丁目23番5号	076-264-8800
14	飯豊山系砂防事務所	999-1363	山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町3丁目48	0238-62-2566
15	阿賀川河川事務所	965-8567	福島県会津若松市表町2番70号	0242-26-6441
16	千曲川河川事務所	380-0903	長野県長野市鶴賀字峰村74番地	026-227-7611
17	松本砂防事務所	390-0803	長野県松本市元町1丁目8番28号	0263-33-1115
18	神通川水系砂防事務所	506-1121	岐阜県飛騨市神岡町殿1020番地4	0578-82-1220
19	三国川ダム管理所	949-6741	新潟県南魚沼市清水瀬686-59	025-774-3015
20	大町ダム管理所	398-0001	長野県大町市平字ナロヲ大クボ2112-71	0261-22-4511
21	北陸技術事務所	950-1101	新潟県新潟市西区山田2310-5	025-231-1281
22	国営越後丘陵公園事務所	940-2043	新潟県長岡市宮本東方町字三ツ又1950番1	0258-47-1471
23	金沢営繕事務所	920-0024	石川県金沢市西念3丁目4番1号	076-263-4585
24	新潟港湾・空港整備事務所	951-8011	新潟県新潟市中央区入船町4丁目3778	025-222-6111
25	伏木富山港湾事務所	930-0856	富山県富山市牛島新町11-3	076-441-1901
26	金沢港湾・空港整備事務所	920-0331	石川県金沢市大野町4-2-1	076-267-2241
27	敦賀港湾事務所	914-0065	福井県敦賀市松栄町2-43	0770-22-2590
28	新潟港湾空港技術調査事務所	951-8011	新潟県新潟市中央区入船町4丁目3778	025-222-6115

本冊子の内容、その他、北陸地方整備局に関する防災全般に関しては下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

連絡先



国土交通省 北陸地方整備局 防災室／災害対策マネジメント室

〒950-8801 新潟県中央区美咲町1-1-1 美咲合同庁舎1号館
tel: 025-280-8880 (代)

(令和4年4月)